

収	受
令和	-3.8.-2
環環第 環環第	470-90 号 号
吹田市	

様式第二号の八（第八条の四の五関係）（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和3年8月2日

吹田市長 様

提出者

住所 大阪府吹田市芳野町18番23号

氏名 昭和化工株式会社
代表取締役社長 小椋 浩之介

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6384-1501

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	昭和化工株式会社 本社工場
事業場の所在地	大阪府吹田市芳野町18番23号
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

		【目標】 別紙1, 2のとおり	
②計画	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和2年度)実績量

計画：今年度(令和3年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類		排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
コード	名称	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+③)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の④)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑥+⑦)		全処理委託量 (前年度実績値の⑧)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑨)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑩)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
200	汚泥2B	4,820	3,000									4,820	3,000	4,820	3,000						
200	汚泥A-1	62,540	60,000									62,540	60,000	62,540	60,000						
200	汚泥B-1	5860,000	5000,000					5252,140	5000,000			607,860	500,000	607,860	500,000						
200	汚泥B-4	66,690	60,000									66,690	60,000	66,690	60,000						
200	汚泥D	34,100	28,000									34,100	28,000	34,100	28,000						
200	汚泥I	9,780	1,500									9,780	1,500	9,780	1,500						
200	汚泥J	4,390	10,000									4,390	10,000	4,390	10,000						
200	汚泥S-3	7,980	5,000									7,980	5,000	7,980	5,000						
300	廃油M	0,000	0,300									0,000	0,300	0,000	0,300						
300	廃油L	0,180	0,300									0,180	0,300	0,180	0,300						
400	廃酸C-1	16,250	15,000									16,250	15,000	16,250	15,000						
400	廃酸K	8,000	10,000									8,000	10,000	8,000	10,000						
600	廃プラA-3	8,950	8,000									8,950	8,000	8,950	8,000						
600	廃プラA-4	0,000	0,020									0,000	0,020	0,000	0,020						
600	廃プラA-5	17,850	15,000									17,850	15,000	0,000	15,000						
600	廃プラA-6	0,990	1,000									0,990	1,000	0,990	1,000						
600	廃プロA-7	24,570	22,000									24,570	22,000	24,570	22,000						
600	廃プロA-8	17,96	2,000									17,96	2,000	17,96	2,000						
700	紙くず	0,000	20,000									0,000	20,000	0,000	20,000						
800	木くず	48,120	45,000									48,120	45,000	48,120	45,000						
1300	ガラスくず	32,000	20,000									32,000	20,000	0,000	20,000						
2510	電池類	0,000	0,500									0,000	0,500	0,000	0,500						
2522	蛍光灯類	0,067	0,700									0,067	0,700	0,067	0,700						
		6225,237	5327,320					5252,140	5000,000			973,067	827,320	923,247	827,320						

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へ産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。
※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	16：化学工業
②事業の規模	売上高：12,280百万円
③従業員数	170名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

別紙とおり

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） 脱水機更新をしたことで以前より安定的に処理できております。 また、汚泥排出量を前年より削減出来ています。
②計画	（今後実施する予定の取組） 現在は、脱水後の活性汚泥を乾燥させるため乾燥機を設置する予定です。 また、活性汚泥の肥料化を進めておりますので現状より排水量を抑えるだけでなく環境負荷低減が見込まれます。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック、廃油、汚泥、廃酸、紙くず、木くずはそれぞれ分別保管している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

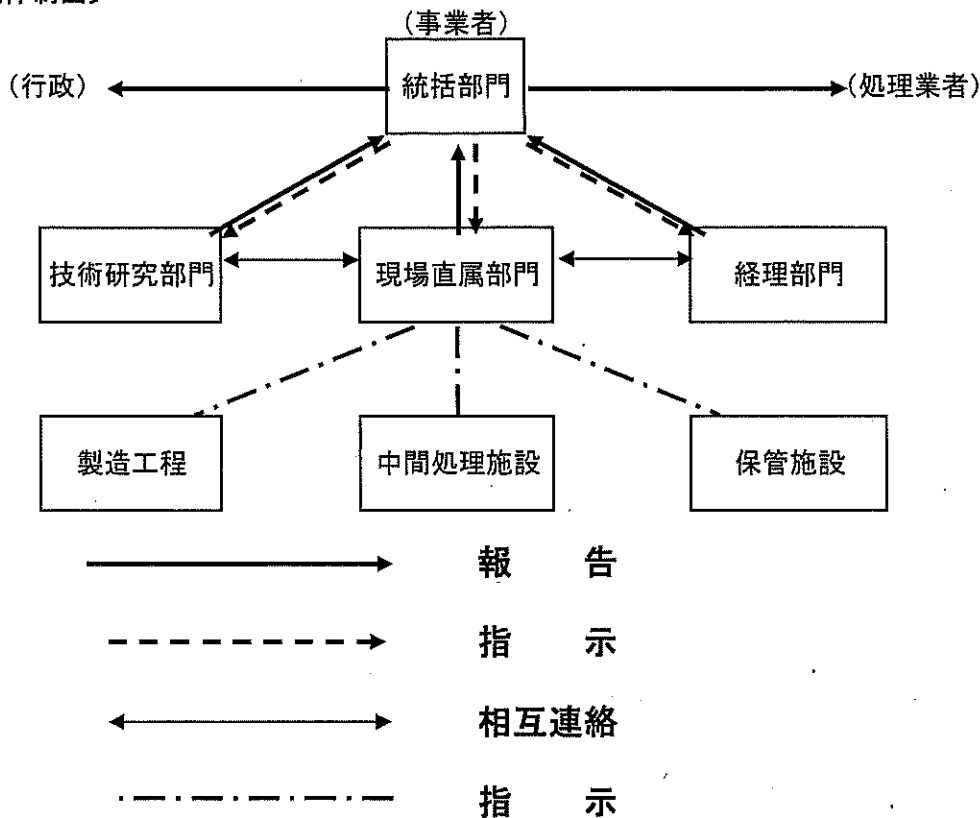
①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 廃酸は一部セメント助燃剤（調整）として再利用、廃油は再生利用、紙くずは破砕しリサイクル、木くずは破砕しペレットに再生。
②計画	(今後実施する予定の取組) 再生利用できるものがないか検討を進めていく。

別紙

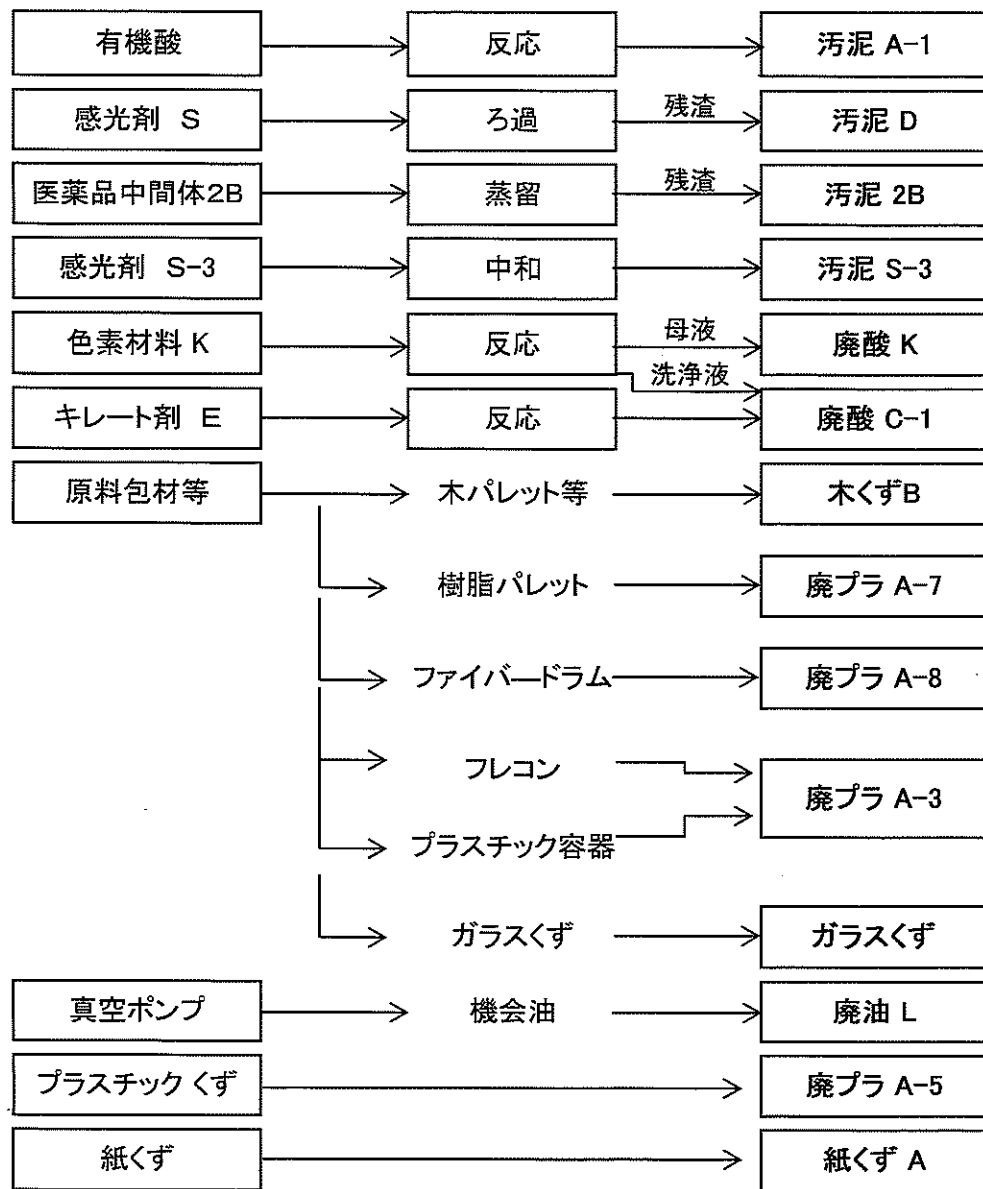
添付資料 管理体制図及び各部署の役割
〔管理体制図〕



〔各部署の役割〕

部署	役割
A 統括部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 処理施設(事業場内・外)の定期的査察 行政に対する報告等 処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 各部署間の調整及び指示 廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施
B 現場直属部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 各現場の施設の維持管理点検等 保管施設での保管量の把握、記録の作成等 中間処理施設の稼働状況の把握、記録の作成等 最終処分場の稼働状況の把握、記録の作成等 産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等 上記内容をAに報告
C 技術研究部門	<ul style="list-style-type: none"> 製造工程の研究開発 産業廃棄物処理技術の研究開発 産業廃棄物減量化手法の調査研究 上記内容をAに報告
D 経理部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の適正処理費用の算出 委託料金の支払方法による業者管理 上記内容をAに報告

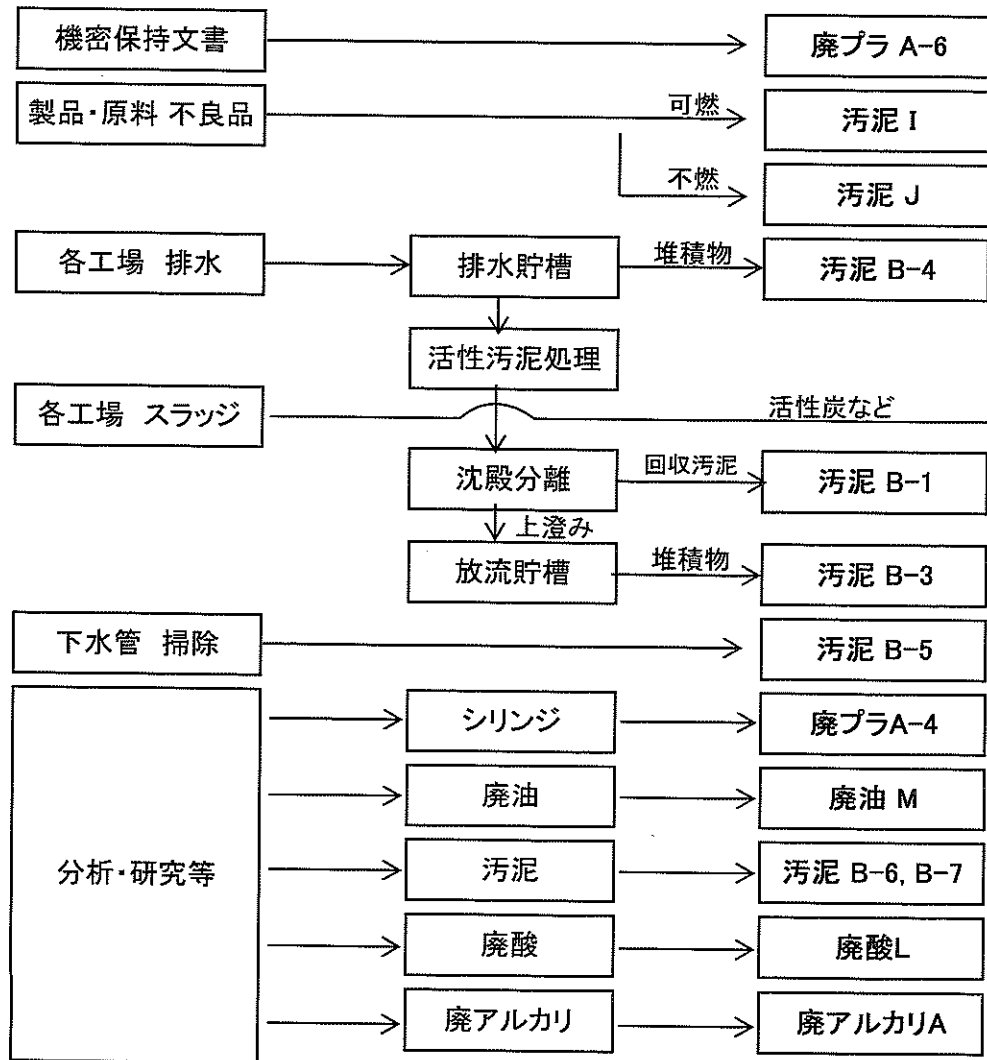
産業廃棄物 発生フロー



産業廃棄物 処理フロー



産業廃棄物 発生フロー



産業廃棄物 処理フロー

